

十夕
八
日刊
皇族時報

福島縣石城郡平町細屋町十四
編輯發行人岡田弘成
印 刷人岡
福島縣石城郡平町細屋町十四
刷 所 加納活版所
福島縣石城郡平町細屋町十四
發 行 所報威時報社
一部金貳錢一ヶ月支參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
△日刊(日曜、祭日)休刊

いふ暴言を吐いてゐるがその
真否如何、尙ほ福島縣の警察
官は取締りが不公平だといふ
噂のあるのは如何なるわけか
内相の答辯を求む
と突き込んだに對し安達内相代
理は

は成立して居りませぬ、未だ内務省調停官も手を下して居りませぬ、形勢を觀望して機宜の措置をとる積りであると答辯したが、磐城炭礦の爭議は今や全國的の問題となつたわけである。

石城郡

の埋葬

鑿城炭礦爭議事件

互に譲らぬ會社と爭議團

磐城灰礦小野田坑に勃發した勞かふもりである」といきまき兩動争議は、やがて磐城全山に波及し、更に入山炭礦をまで動搖させて血生ぐさい風は石城の空を覆ひ、附近に散在する三井、福島、古河の三大炭礦も何時その渦中にまき込まれるやもわからぬ状態に蓬著し。日本坑夫組合の蹶起となり磐炭會が立ちて、はては東都自由法曹團までが渦中に投じ、入り乱れての亂暴行者

尾を始め北海道、九州方面の大炭礦に於ける炭礦、労働者の思想上にも動搖を來す恐れあり、想算超過の悲鳴は兎に角としてこゝ縣當局では全く必死となつて調停に奔走してゐる。

磐城炭礦の労働争議は未だ全く終熄に至らぬが十六日の高坂坑番方八士八名、計二百八十三名を算し漸次入坑者増加の傾向あり之れを平時状態であつた当月上旬にくらぶる時は三分の一の入坑者で目下二番方は中止の状態にある。而して十七日から坑者合計百十二名であつたが當

し、警官二百名の該地方を警戒して居ります、現在争議團に加入してゐる坑夫は四千五百三十七人、實際中心となつて争議に從事してゐる坑夫は九百名位のものである、現在暴行のかぎで取調べを受けてゐる坑夫は約六十名、之れは法の命する所に依つて所罰せらるゝものと思ふ、未だ調停

名に達し其率に於て縣下第第一位
で之が學術身体の検査は十六日
十七日の兩日平町元石城郡役所
で執行したが、合格者は
▲電信兵八名▲機關兵十二名
▲水兵十一名▲船匠兵二名▲
主計兵一名、合計三十三名
であつた、之について徵募官井

た、花柳病は志願者であるから
あるまいと思つてゐた處百名中
二名を發見した事は遺憾である
學術の不合格となつた者も少ない
ないが、之等は小學校卒業後
補習教育を受けてゐない者だ。
れた。云々

はれてゐるものゝ土葬は依然として多く八百八十八名であつた。火葬場は九十箇所あるが村落のみを火葬にする風習なので唯完全な火葬場として造られてゐるのは平町位のもので昨年中の火葬人員四百七十九名であつたとある、各所で開いた争議演説も、自由法曹團の獅子吼も、唯徒らに警察當局からの反感

八名收容

争議事件 議會の問題となる 安達内相代理の答辯

ふとも決して不利の前例は残したくない」と云ひ、争議閣では吾々の要求を認めないのは我を人間として認めない證據である。我々は單に磐城炭礦の労働者ためばかりで無く一般労働者のためにわくまで資本階級支配階級の迷盲打撲を叫びた。磐城炭礦に於ける労働争議は多數の検索を出した事から遂に帝國議會の問題となつた。十七日衆議院本會議に於て新正俱樂部田崎院議士は緊急質問として炭礦労働者が會社に對して賃金値上げを要求した事。彼等

○生活状態から見て當然の事と思ふ、争議團に對し警炭會建國會等會社の反動團體が生じたについて過日争議團代表者が松村警保局長を訪ふる時警保局長は「反動團体は資本家・金で買はれてゐるものだから大した事はないだらう」と

「いゝ加減の處で見切りをつける事が會社將來の得策である。」喝破してゐたが、流石は名譽記官だけに、先見の明は誠に驚嘆にあたひする。五大炭礦の申合せるあつうが會社の權威を失墜せぬ範圍に於て、大雅量大襟度を示して一歩を譲る普斷の持合せはないものか知ら？會社は行く

礪を向ふに廻して、よくも根氣よく對戦したものである。終始一貫攻勢的立場にあつて絶はず會社を惱ましてゐた根強さは見上げるものである。會社の消極政策に反し、彼等の積極政策は敵の一大脅威であつた。策戦に於いて盤旋會は彼れ等の敵はない、訓練のない盤旋會は策戦に於いて

かつた、同志の生活難観來が
非常な脅威であつた、一日休
めば一日の損ごいふ觀念が米
櫃の底から日一日こ盛上がつ
てくる、同志はその頃から漸
く倦怠を感じて幹部連の焦燥
さ時折り鉢合はせをなし、組
合を脱退すれば命はないぞ
との脅迫に重い足を引きずり
ながら運動に加擔する仕末で

は君たちの身の破滅である。
「引くに引かれぬ」などと曳か
れ者の小唄は太きな人の口に
すべきではあるまい。それで
もまだ心残りがあるといふな
ら、ソレあの通り入山探炭が
大きな兩手をひろげて君達の
くるのを待つてゐるではない
か、進めとは言はぬが一寸の
ぞいて見てはどうか!?

灰礦爭議余談

争議闘争の足並は、實に正々堂々たるものであつた、彼等の戦法は鈍重な磐旋會に比し遙かに機智的であつた。ナ

も、自由法曹團の獅子吼も、唯徒らに警察當局からの反感を買つた位に止まり、何等反響も効果もなかつたことは氣の毒であつた。

徵募官の感想

墓地は何れも狹隘を告げてゐる
始末である、石城郡地方は土葬
が古くから行はれてゐるので我

漁業組合
存續認可

石城七瀬漁業組合のうちかねて
主務省に對し専用漁業権存續更
新の認可申請のもの左の如く今
日認可の指令があつた、而して
その存續期間は何れも二月一日
から昭和二十一年九月末日まで
である。

勿來町關田濱漁業組合、小名
濱町小名濱漁業組合、江名町
江名漁業組合、錦村田中浦漁
業組合、豊間村漁業組合、沼
ノ内漁業組合、薄磯漁業組合

▲中山氏の町葬
町長中山元治氏の町葬は十八日
午後二時自宅出棺同町真福寺で
行はれたが會葬者五百余名同町
空前の大葬儀であつた。

カシキモ

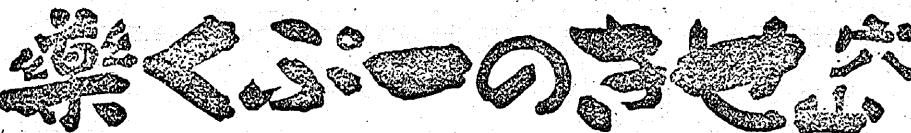
貸
平古鍛冶町一
茗荷屋貨衣裳店

秋の山に
柿なつた
まつかに
じゆくして
うまそな
からすが
一羽とんで
來て
ぱつたりと
します。

(小學生作文)

投票用紙

模擬平市會議員



番○四話電局 薬内關 目丁四町平 約店 特

水戸黄門館

平模擬市會
市會議員得票

三五一票

吉田寅之輔氏

物残品藏拂ひ
思ひ切つた値段下さり

今山家メリヤス店

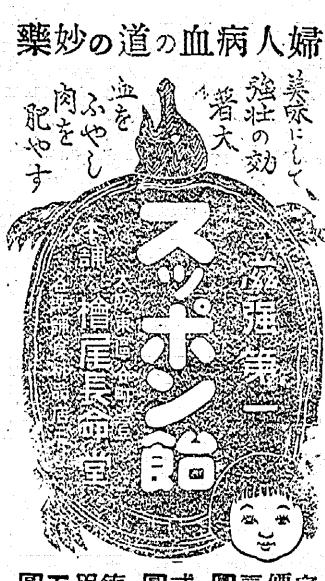
平町一丁目(電話六〇五番)

力キは一の井
料 理 は 力
キ

鐵筋コンクリート
設住宅商店事務所
平町田町

丸山喜一郎

電話六二番



圓五用德・圓貳・圓壹價定
店理邊野山角目丁五町平

女中入用
年齡十七八歲以上住込み或は運動
平町紺屋町 佐藤作

原平病院
料察無診
實他費院
平町電
番一五五

内科・外科・耳鼻喉科
咽喉科・花柳病科
高久病院
平町電話一三五忠

内科
肝包茎門病
婦人病
腸虫病指
専門院病村松
町南平

平町病院案内

原平病院
料察無診
實他費院
平町電
番一五五

外科一般、婦人科
耳鼻咽喉科
慈惠醫學士
日本醫學士
新妻由五郎
高橋貢
赤心堂病院
田町電話四七五

吉田眼科
平町紺屋町
電話六八番

大和田醫院
耳鼻喉科
平町南町
電話一七〇番

產科婦人科
野秋善直
二月一日より診療開始
産婦人科部長

尚ほ院長菊地博士は毎日
午前九時から午後四時迄
又何時でも往診します
菊地博士の住所
舊城跡三ノ丸(丹後澤)

共濟病院
城醫
◎看護婦至急募集す